



FU-ASE10S1

無停電電源装置

180分仕様

取扱説明書

株式会社エヌ・ティ・ティ ファシリティーズ

DWG. No. M0005121B

1. 安全上のご注意

安全上のご注意については、別冊「FU-ASE10S1無停電電源装置取扱説明書」をご覧ください。

2. 包装内容の確認

包装を開きましたら、包装内容をご確認ください。万が一異常がありましたら、販売店または当社営業所までご連絡ください。

(1)	UPS本体	1
(2)	バッテリーボックス	1 (別包装) ※180分用: BCASE10S1AF3
(3)	添付品	
	標準仕様取扱説明書	1部
	WindowsNT/ Windows2000設定要領書	1部
	保証書	1部
	バイパスヒューズ 15A	1本
	通信ケーブル	1本
	ブッシュ	6個
	入力電源コンセント用接地アダプタ	1個 (入力プラグ3P→2Pへの変換用)
	名刺入れ	1個 (修理、緊急時の連絡先用として 装置に貼り付けてご使用ください)
	180分仕様取扱説明書 (本書)	1部※
	ねじ (M4×8)	2個※
	ねじ (M3×6)	1個※

※: バッテリバックアップ時間180分仕様に添付されます。

3. 概要

本装置は、無停電電源装置: FU-ASE10S1 (以下UPS本体と呼ぶ) のバッテリーバックアップ時間を180分用に延長するバッテリーボックスを構成します。

4. 準備・据え付け

正面および裏面に吸排気スペースを確保してください。(UPS本体の吸排気スペースは、別冊「FU-ASE10S1無停電電源装置取扱説明書」を参照してください。)

◆ 4.1 UPSとバッテリーボックスの取り付け

下記の要領で取り付けてください。

- ① 設置する場所に装置を移動してから取り付けを行ってください。図1のようにバッテリーボックスの上にUPS本体を乗せます。

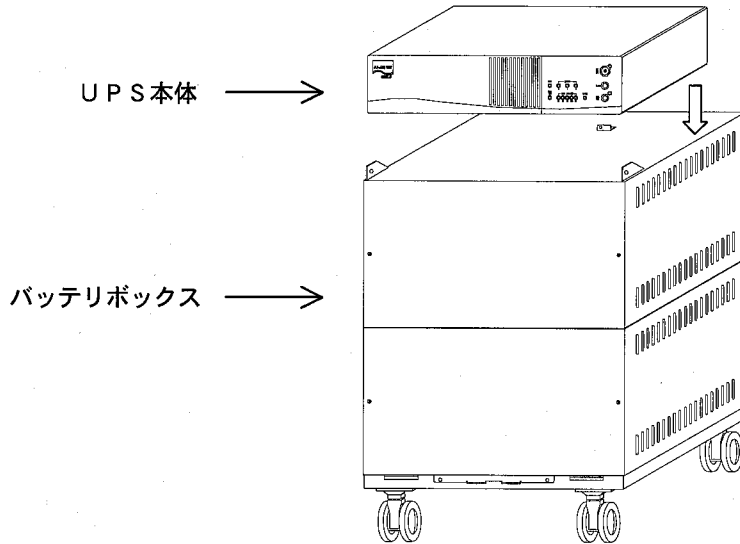


図1

- ② 添付品のM3×6とM4×8のねじを取り出し、図2のようにUPS本体とバッテリーボックスを固定させます（ねじ留め3ヵ所）。UPS本体の使用しない穴にはブッシュをはめてください。ねじの締め忘れがないか確認してください。据え付け場所が決まりましたら、キャスター部のロック金具（4ヵ所）で車輪をロックし、固定してください。

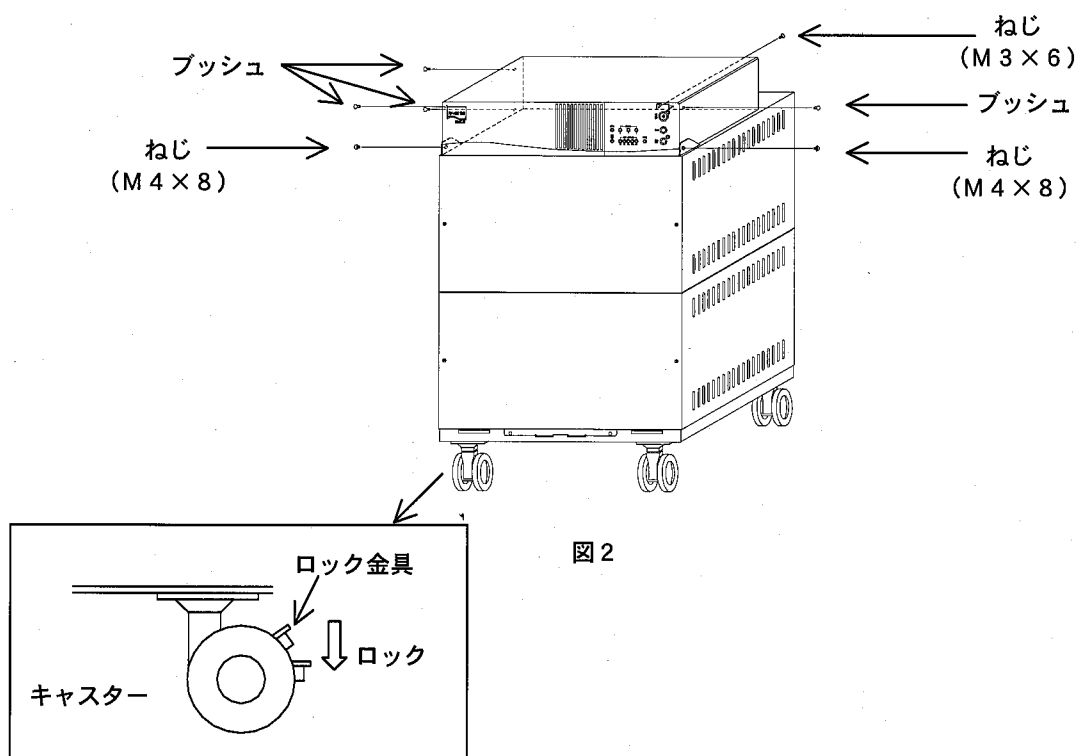


図2

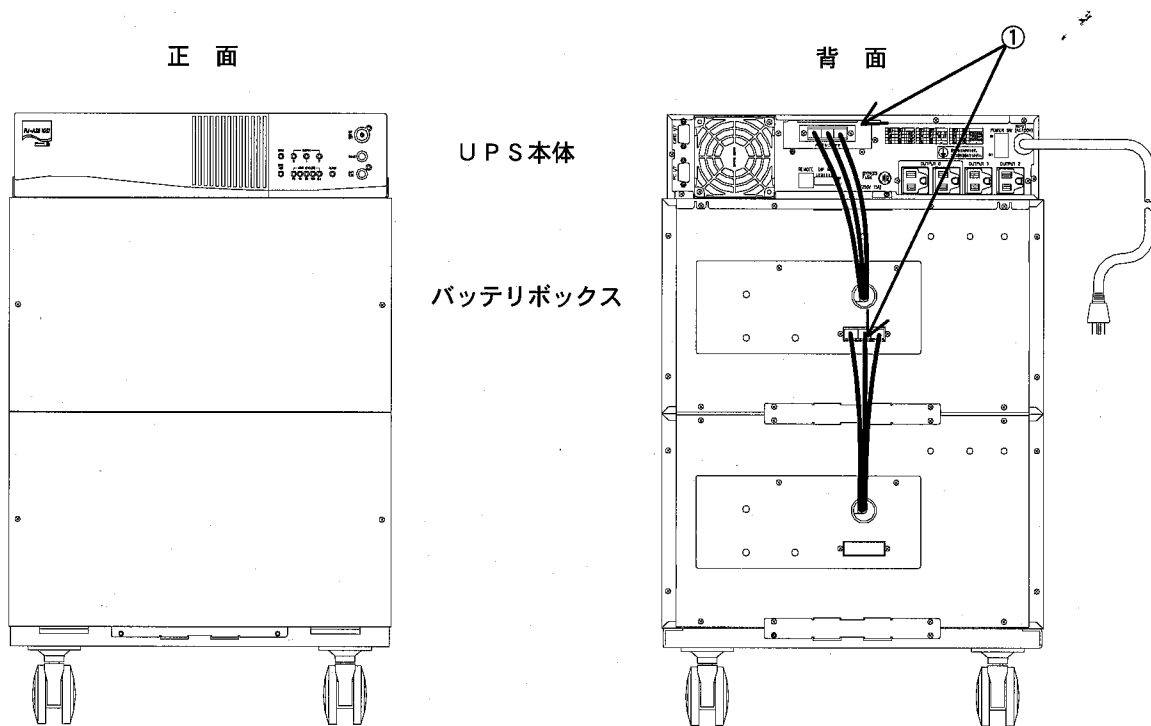
5. 配線



- バッテリコネクタ差し込みに、ゆるみがないようにしてください。差し込みにゆるみがあると発煙、発火のおそれがあります。

◆ 5.1 UPS本体とバッテリーボックスの配線

UPS本体バッテリーコネクタにバッテリーボックスから出ているケーブルを接続してください。コネクタは「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



6. 運転および停電確認試験

配線終了後、UPS本体を運転し停電確認試験を行ない、出力供給が継続し負荷に影響が出ないことを確認してください。(UPS本体の運転方法は別冊「FU-ASE10S1無停電電源装置取扱説明書」を参照してください。)

7. 仕様

電氣的仕様：バックアップ時間が長時間のため標準仕様と一部違いがあります。(備考欄※印)

項目	規格または特性	備考		
装置	180分仕様	※		
出力容量	1kVA/0.7kW			
冷却方式	強制空冷			
交流入力	相数	単相2線		
	電圧	100, 110, 115, 120V ±15%以内	スイッチ選択(出力電圧と同一)	
	周波数	50Hzまたは60Hz ±1, ±3, ±5%	変動範囲は出力周波数精度設定による(注1)	
	所要容量	1.1kVA	バッリ回復充電時の最大容量 ※	
	入力力率	0.95以上	定格出力時(注2)	
交流出力	相数	単相2線		
	電圧	100, 110, 115, 120V	スイッチ選択	
	電圧整定精度	±2%以内		
	周波数	50Hzまたは60Hz	入力周波数と同じ(自動選択)	
	周波数精度	定格周波数±3.0%以内(商用同期時)	1, 3, 5% スwitch切換可能 自走発振時: ±0.5%以内	
	電圧波形	正弦波		
	電圧波形歪率	線形負荷時: 3%以内 100%整流器負荷時: 7%以内	定格出力時	
	過渡電圧変動	負荷急変時	定格電圧 ±5%以内	0⇔100%変化または出力切換
		停電・復電時		定格出力時
		入力電圧急変		±10%変化
	応答時間	3サイクル以内		
	負荷力率	0.7(遅れ)	変動範囲0.7(遅れ)~1.0	
	過電流保護動作	105%~120%以上にて バイパス回路へ自動切換	オートリターン機能付	
	過負荷耐量	インバータ	105%~120%	1分間
120%以上			瞬時	
バイパス		200%	30秒間	
		800%	2サイクル	
バッテリー	方式	小形シール鉛蓄電池		
	定格容量	28 A·h	20時間率 ※	
	個数	12個(12V/1個) 3直列4並列	※	
	バックアップ時間	180分	周囲25°C 定格負荷時 ※	
周囲条件	周囲温度: 0~40°C 相対湿度: 30~90%	(注3)		
騒音	40 dB以下	装置正面1m, A特性		

注1. 交流入力周波数が、定格周波数の±3% (1, 3, 5%切換可) の範囲にあり、かつ交流入力電圧が定格電圧±15%の範囲内にあるとき、インバータは交流入力と同期運転し無瞬断切換可能となります。

なお、交流入力周波数が設定範囲を超えた場合はバッテリー運転になります。

注2. 入力電圧波形歪率が1%未満の場合。

注3. バッテリーを搭載していますので、30°Cを超える環境での長時間の使用は避けてください。


注4. 接地されている場合、入・出力の接地相を装置の指定に合わせてください。

8. 保守・点検

◆ 8.1 バッテリーの保守・点検


(1) バッテリーの点検

6ヶ月に1回程度、外観目視検査を実施してください。

 注 意	<ul style="list-style-type: none">• 専門業者以外は、内部の保守・点検をしないでください。感電、けが、やけど、発煙、発火などのおそれがあります。• 点検は、装置を完全に停止させ入力電源を断ってから行なってください。感電のおそれがあります。• バッテリーが接続されており、電気部品は充電されていますので、絶対に手を触れないでください。感電のおそれがあります。
---	---


バッテリーに変形、変色、腐食しているところはないか、チェックをしてください。特に腐食性のガスや湿気の多い場所に設置されている場合はご注意ください。

(2) バッテリーの交換


 注 意	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーは定期的に交換してください。交換時期を過ぎたバッテリーは、火災の原因になることがあります。
--	--

バッテリーは、周囲温度、放電回数など使用条件によって寿命が短縮されます。特に温度による影響は大きく、周囲温度によって下表のように短縮されます。(周囲温度とバッテリー寿命の目安は下表を参照してください。) 寿命を過ぎて使用しますと、液漏れが発生し最悪の場合は損傷のおそれがありますので、予防保全のためお早めに交換をお願いします。

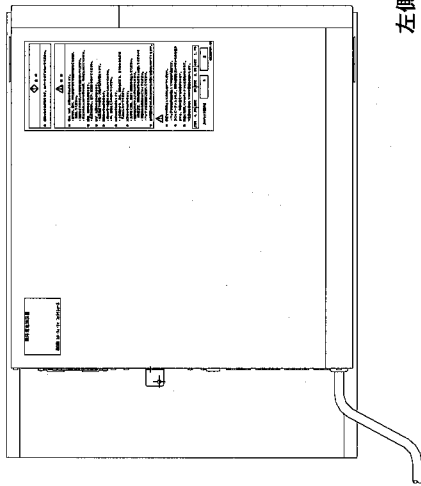
使用温度環境	期待寿命	バッテリー交換時期
25℃	5年	4.5年
30℃	3.5年	3年
35℃	2.5年	2年
40℃	1.7年	1.5年

 注 意	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーは本装置専用品です。指定のバッテリー以外を使用しないでください。また、メーカー名・新旧異なるものを混ぜて使用しないでください。バッテリーの寿命低下、漏液、発熱の原因になることがあります。
---	--

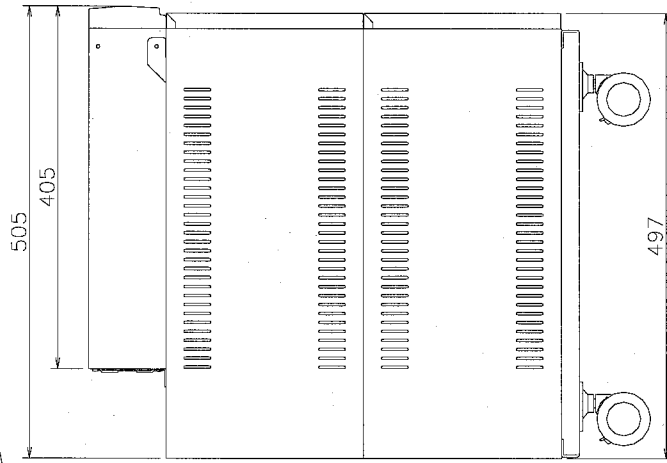
(3) 使用済みのバッテリーについて

 注 意	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーは産業廃棄物です。有害物質の鉛を含んでいますので、交換後の不要となったバッテリーの処理はリサイクルが可能な産業廃棄物処理業者に委託するか、購入したバッテリーの箱を利用して購入先へ返送してください。
---	---

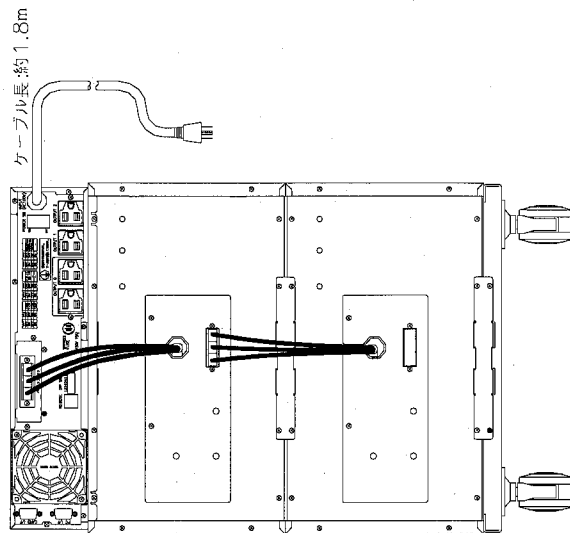
平面



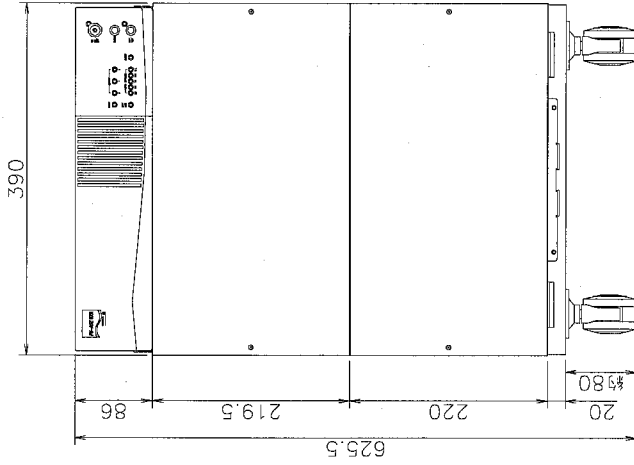
左側面



背面



正面



UPS本体

バッテリーボックス

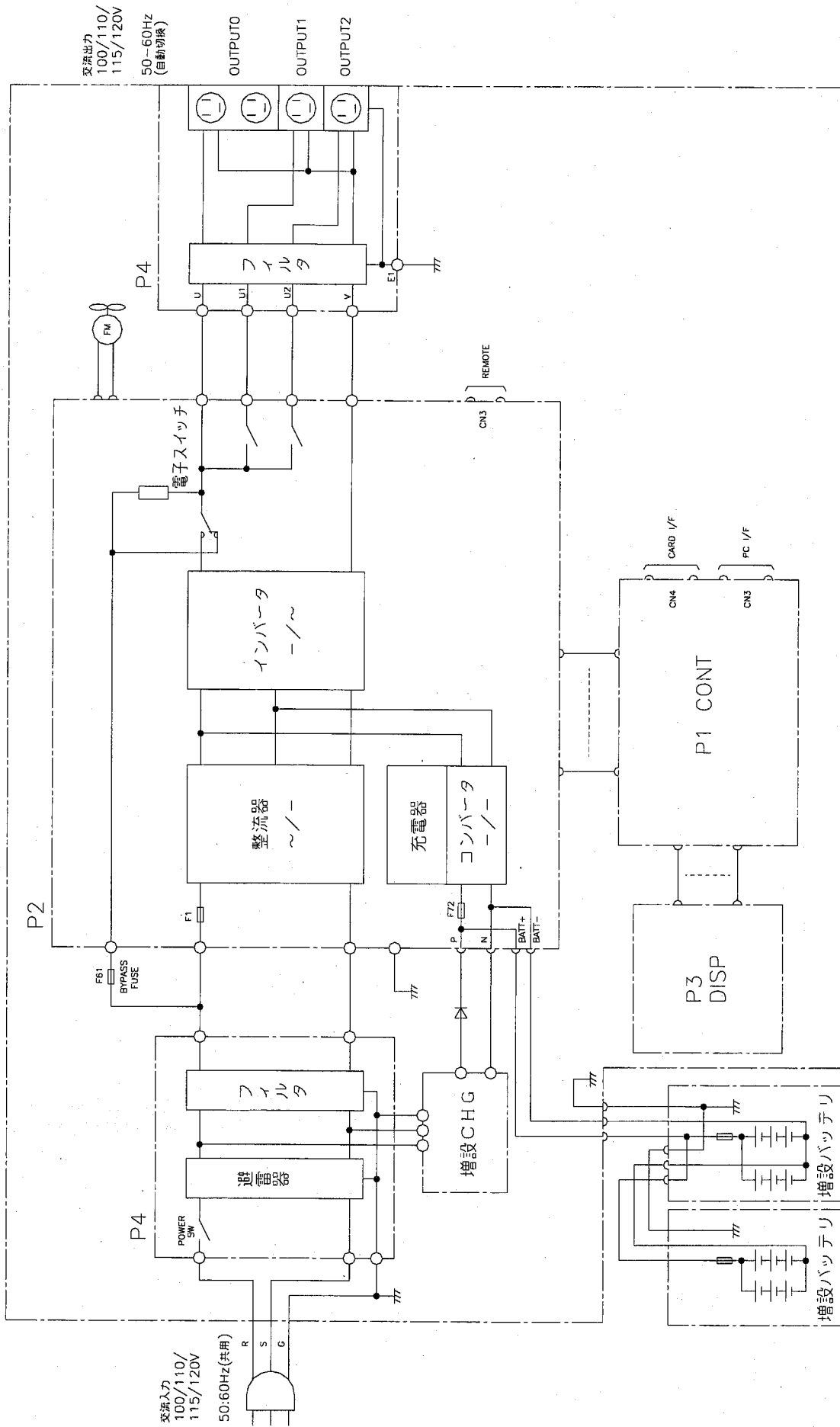
質量 UPS本体

:約13kg

バッテリーボックス(180分仕様):約190kg

FU-ASE10S1-180

外觀構造図



FU-ASE10S1-180
電気回路図